



台東区議会議員

早川太郎



平成30年 第一回定例会 報告

<http://hayakawa-taro.com/> 随時ブログ更新中! Vol.28

平成 30 年度一般会計予算 (1006 億円) 成立

今定例会では、「平成 30 年度一般会計予算」のほか、「国民健康保険事業会計(約 240 億 2 千万円)」「後期高齢者医療会計(約 48 億 2 千万円)」「介護保険会計(約 159 億 4 千万円)」「老人保健施設会計(約 1 億 2 千万円)」「病院施設会計(約 2 億 8 千万円)」、総額約 1460 億円が、予算特別委員会での 5 日間の費目別質疑や、区長との対面方式で行われる総括質疑の審議を経て、3 月 27 日の本会議にて成立しました。

30 年度の台東区一般会計予算は **1006 億円** で、対前年比 **18 億円、1.8% の増** となり、3 年連続で区政史上最大規模の予算となっています。30 年度予算は、

- 区政の根幹である民生・衛生費に、「重症心身障害児(者)等レスパイト」や「奨学給付金」、「おたふくかぜ予防接種助成」など予防接種の新規・充実、「母子健康診査」における妊婦超音波検査の助成回数拡充など、予算規模は決して大きい事業ではないが、大変評価できる事業が多いこと
- 「つなぐプロジェクト」が政策要望などで提案した **スクールソーシャルワーカーの増員、介護従事者の人材確保支援、保健所の情報システム強化** なども予算にしっかりと反映されていること
- 今年度に引き続き、区有施設の LED 化、めぐりんの車両購入など、**将来のランニングコスト削減に多大に寄与する事業** をしっかりと行っていること
- 1 億円を超える予算となってしまったが、区の財政は「予断を許さない状況」という認識のもと、**財政規律にも配慮した予算措置** を行っていること

など、評価できる点も多く、予算案に賛成しました。今後とも、**すべての世代の人たちが住み続けたいと思える台東区** をめざし、行政サービスのより一層の充実をはかるべく、全力を尽くしてまいります。

今回の定例会では、**マイナス約 6 億 1 千万円** の一般会計補正予算の他、3 つの特別会計補正予算が審議され、成立しました。

一般会計では、歳入で特別区民税約 3 億 1 千万円、特別区交付金 8 億円の増収分が予算計上されたほか、歳出で**家庭的保育事業開設準備のための経費** を計上するとともに、契約などの実績金額を反映させたことや、予定されていた助成事業が延期になったこと等の理由で、この年度で必要としなくなった経費が減額されました。結果として基金の取り崩しが必要なくなり、更に、基金約 13 億 6 千万円を積み増しています。

平成 29 年度 一般会計補正予算 (第 4 回) 成立

将来にわたって**区政運営をしっかりと行っていくためには、歳入不足や景気の変動などに備え、基金を積み立てていくことは重要**であり、この補正予算は必要な措置だと考え、賛成しました。



2 月 9 日から 47 日間にわたって開催された第一回定例会は、「東京都台東区住宅宿泊事業の運営に関する条例(民泊条例)」や「平成 30 年度一般会計予算」を含む区長提出 40 議案のほか、議員提出 2 議案を可決し、3 月 27 日閉会しました。

2 月 17 日には、私 早川太郎が、「つなぐプロジェクト」を代表して代表質問を行い、**区の財政状況や、情報活用・選択能力の育成について**、区長に提案・質問を行いました。

(質問要旨は裏面をご覧ください)

すべての世代の未来のために、台東区の未来のために。今後とも区民の皆様の声をいただきながら、台東区政改革に全力で取り組んでいく決意です。ご理解とご協力をお願いいたします。